

椋山女学園中学校・高等学校



外観・トイレ入口

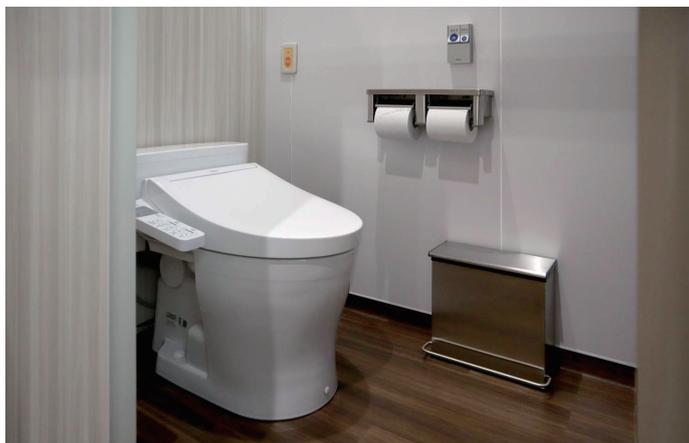


1905(明治38)年に創立された、名古屋裁縫女学校を起源とする「椋山女学園」。中学校・高等学校は、閑静な環境の山添キャンパス内に位置。今回のトイレ改修では、床材に土足利用に配慮した仕様を選定している。



洗面コーナー

2段のカウンターでドライエリアを設け、荷物の置き場所に配慮した機能的なツインデッキカウンターを採用。水栓は、非接触で使用できる自動水栓を選択。鏡の顔映りがよくなるように、照明の設置位置にも配慮している。



大便器ブース

大便器は、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式、洗浄リモコンは、ボタンを押すたびに発電し、電源工事や乾電池交換が不要なエコリモコンを採用。防犯対策として呼出ボタンを設置している。

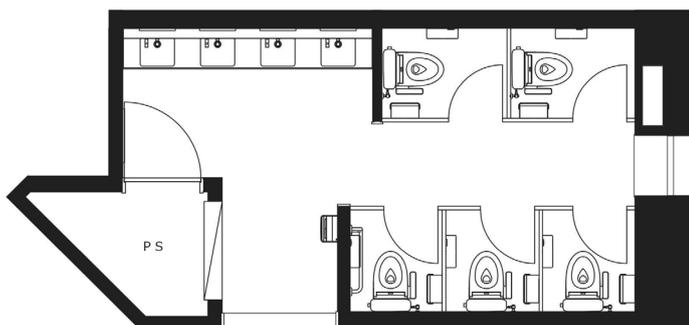


改修前

改修前は和式便器が残っていたが、今回の改修工事で、すべてのブースを洋式便器化し、さらにウォシュレットを採用した。洗面コーナーも、自閉水栓から、非接触の自動水栓に変更した。



トイレ図面



建築概要

名称	椋山女学園中学校・高等学校
所在地	愛知県名古屋市千種区山添町2-2
施主	学校法人椋山女学園
設計	清水建設株式会社 名古屋支店 一級建築士事務所
施工	清水建設株式会社 名古屋支店
竣工年月	(改修)2021年8月
敷地面積	27,362㎡
建築面積	3,668㎡
延床面積	12,124㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上5階・塔屋3階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B系
 ウォシュレットP(エコリモコン):TCF589A/柵付二連紙巻器:YH701
 チャームボックス(汚物入れ):YKB102
 ツインデッキカウンター(ボウル一体タイプ):MKWD
 クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W